

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第4週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第1週より連続的に増加しており、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-6

< インフルエンザ >
第4週の全国レベルでの定点当たり報告数は7.9で、第3週よりも大幅に増加した



病原体情報
P.7-8

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン



速報
P.9

クロイツフェルト・ヤコブ病の発生届の報告について - 厚生労働省健康局結核感染症課長通知



海外感染症情報
P.10

鳥インフルエンザ状況 - ベトナムとカンボジア / 東ティモールでの Dengue 出血熱流行 / 中国での流行性髄膜炎発生について



感染症の話
P.11-14

< マラリア >
世界保健機関(WHO)の推計によると、年間3～5億人の罹患者と150～270万人の死亡者があるとされる



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(4週)
P.15-21



4週のデータ
P.22-33



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第4週コメント> 2月3日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

1類感染症:報告なし

2類感染症:コレラ 1例(推定感染地域:国内)

細菌性赤痢 10例(推定感染地域:国内3例、インド2例、インドネシア1例、
フィリピン1例、ネパール1例、モロッコ1例、ペルー1例)

腸チフス 1例(推定感染地域:タイ)

パラチフス 1例(推定感染地域:モルディブ)

3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症 11例(うち有症者9例)

血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(5例)、O26 VT1・VT2(1例)、その他
(5例)

年齢:10歳未満(3例)、20代(4例)、30代(1例)、40代(2例)、50代(1例)

4類感染症:Q熱 1例(推定感染源:不明)

マラリア 1例(熱帯熱_推定感染地域:ガーナ)

レジオネラ症 2例(50代1例、60代1例)

E型肝炎 1例(推定感染地域:国内、推定感染源:不明)

A型肝炎 3例(推定感染地域:国内2例、不明1例)

5類感染症:アメーバ赤痢 6例

推定感染地域:国内5例、不明1例

推定感染経路:経口/性的接触(異性間)1例、性的接触3例(異性間2、同
性間1)、不明2例

ウイルス性肝炎 1例(アデノウイルス)

クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性)

後天性免疫不全症候群 15例(無症候12例、AIDS 3例)

推定感染経路:性的接触13例(異性間2例、同性間11例)、不明2例

推定感染地域:国内14例、不明1例

髄膜炎菌性髄膜炎 1例(60代)

梅毒 9例(早期顕症I期4例、早期顕症II期5例)

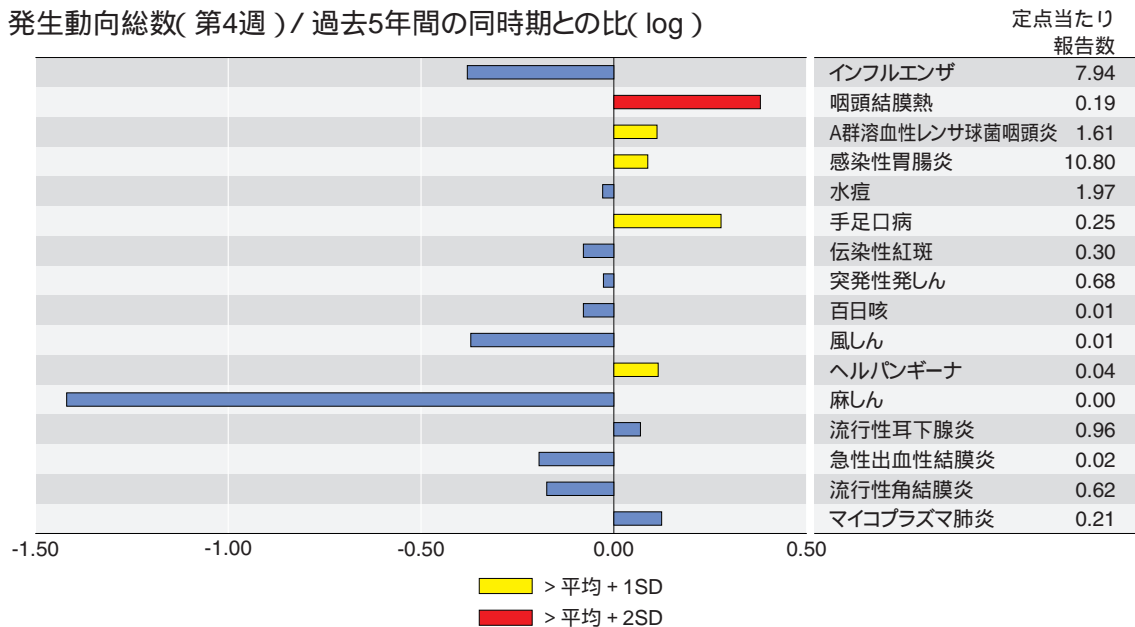
急性脳炎 1例(インフルエンザウイルス、2歳)

(補)他に、コレラ1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例の報告があったが削除予定。また、昨年分の報告遅れとして急性脳炎1例(病原体不明、50代)、本年分の報告遅れとしてE型肝炎1例(推定感染地域:国内、推定感染源:不明)、急性脳炎3例(ムンプスウイルス1例(20代)、病原体不明2例(7歳、10代))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第4週)/過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

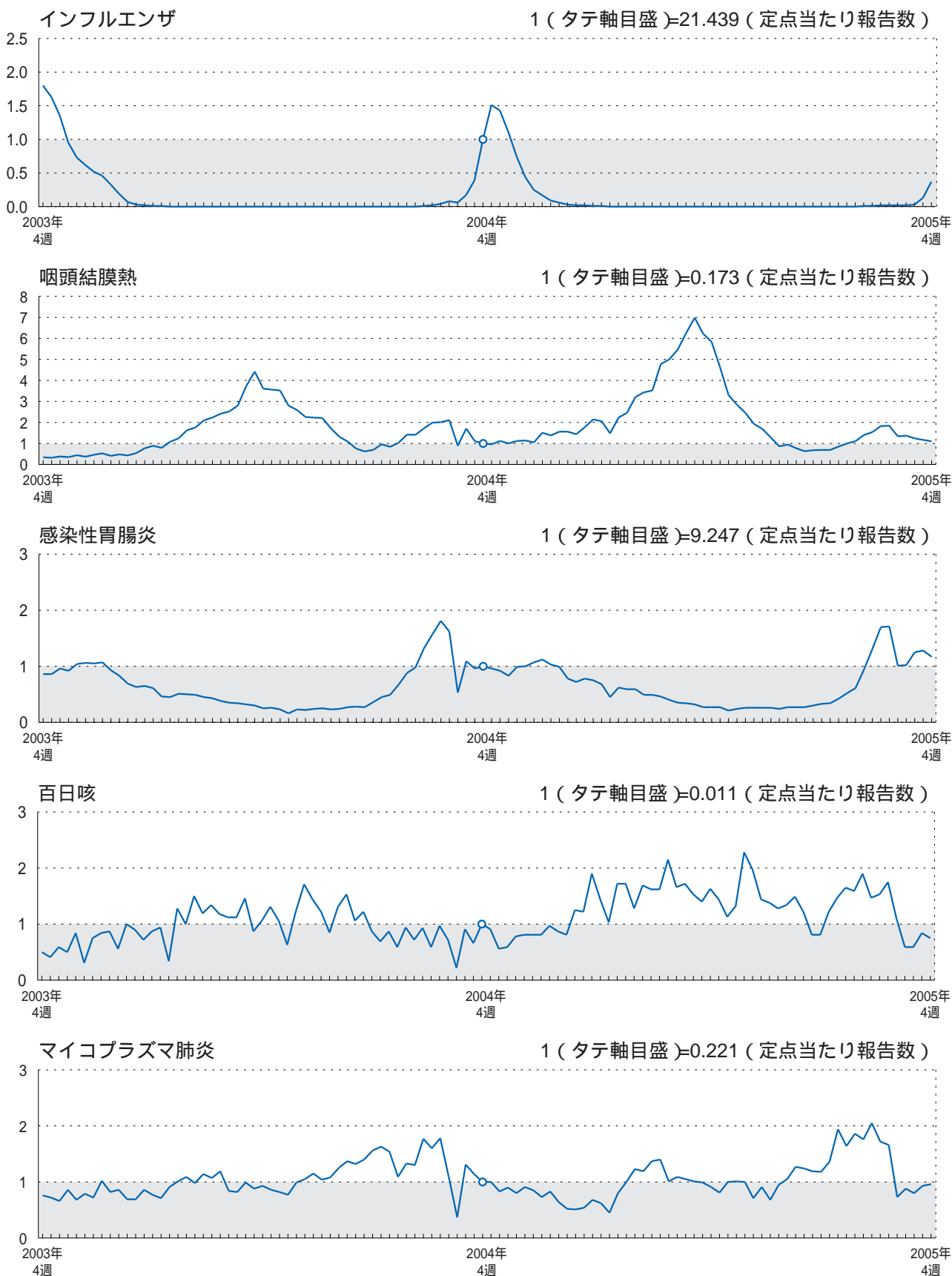
インフルエンザ定点報告疾患: 定点当たり報告数は前週と比べて大幅に増加した。都道府県別では三重県(20.9)、埼玉県(17.3)、群馬県(15.8)、千葉県(15.6)、鹿児島県(14.0)が多い。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は緩やかな減少傾向が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では福井県(1.09)、熊本県(0.53)、北海道(0.52)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第1週より連続的に増加している。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では山形県(3.7)、新潟県(3.7)、大分県(3.4)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。しかし、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では福井県(31.6)、宮崎県(22.0)、山口県(19.4)、宮城県(19.0)が多い。水痘の定点当たり報告数は、第1週以降連続的に減少している。都道府県別では沖縄県(5.7)、宮崎県(3.8)、大分県(3.5)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微増した。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では島根県(1.39)、石川県(0.93)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は、第1週以降連続的に増加している。都道府県別では佐賀県(1.65)、山形県(1.10)、福島県(1.02)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では宮城県(0.07)、長野県(0.04)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(6.4)、佐賀県(3.4)、福岡県(2.6)が多い。年齢別では、1～9歳が全体の約90%を占めている。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて39都道府県から257例の報告があり、前週と比べて減少した。都道府県別では兵庫県(32例)、広島県(24例)が多い。年齢別では、1歳以下が全体の約79%を占めている。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では岡山県(2.0)、福島県(1.3)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第4週)

2004年第4週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





注目すべき感染症

インフルエンザ

2005年第4週の全国定点医療機関からの報告数は37,332、定点当たり報告数は7.9で、第3週よりも大幅に増加した(図1)。定点当たり報告数が1.0以下であるのは1県のみであり、5.0を超えているのは22県、10.0を超えたのは三重県(20.9)、埼玉県(17.3)、群馬県(15.8)、千葉県(15.6)、鹿児島県(14.0)、静岡県(13.2)、東京都(12.6)、神奈川県(12.4)、愛知県(11.2)、佐賀県(11.1)、岐阜県(11.1)、新潟県(10.1)の12都県であった(図2)。警報レベルを超えたのは8都県あり、注意報レベルを超えたのは21道府県となった。また、インフルエンザ様疾患に伴う休校・学年閉鎖・学級閉鎖の合計は426件と、前週の約2.7倍となった。

今シーズンはこれまでのところ、B型インフルエンザウイルスの分離報告数がAH3型やAH1型よりも多い(IDWR 2005年第4号「病原体情報」参照)。

インフルエンザ発症者の急増に伴い、高齢者における死亡の増加や、小児層におけるインフルエンザ脳症の発生が危惧される。インフルエンザ脳症は、0～1歳の児を中心に例年100～300人の発生がみられ、致死率(最近は約15%)、後遺症発生率(約25%)とともに高い。今シーズンは、これまでに3例のインフルエンザ脳症発生の報告があったが、今後、インフルエンザ発生例の急増とともに増加する可能性があり、注意が必要である。

図1. インフルエンザの週別発生状況(1995～2005年第4週)

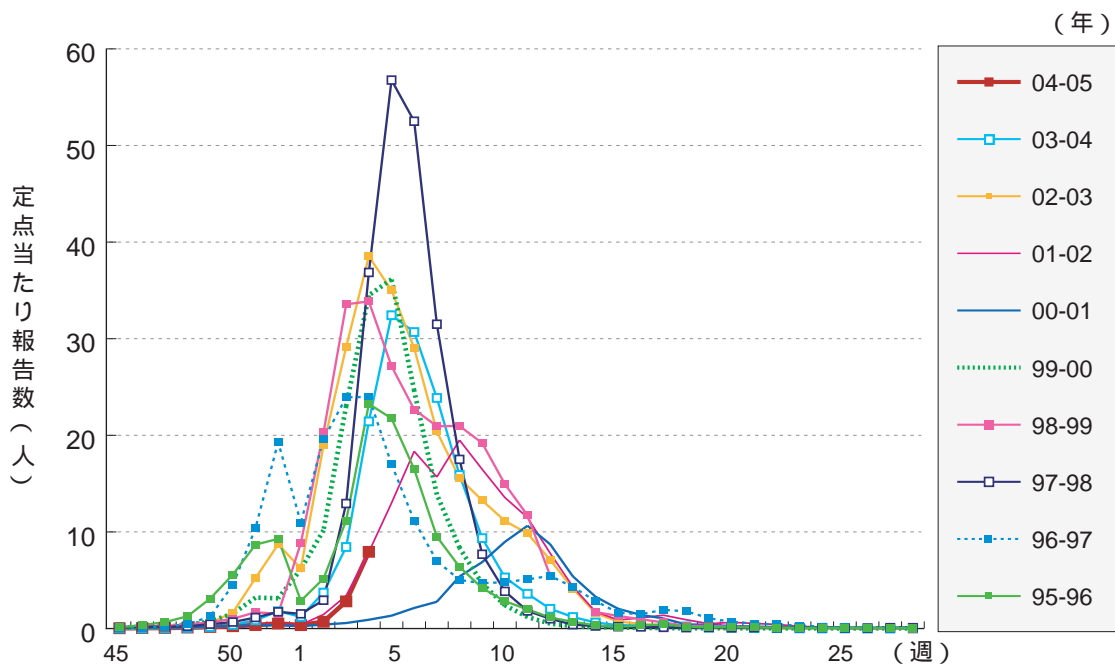
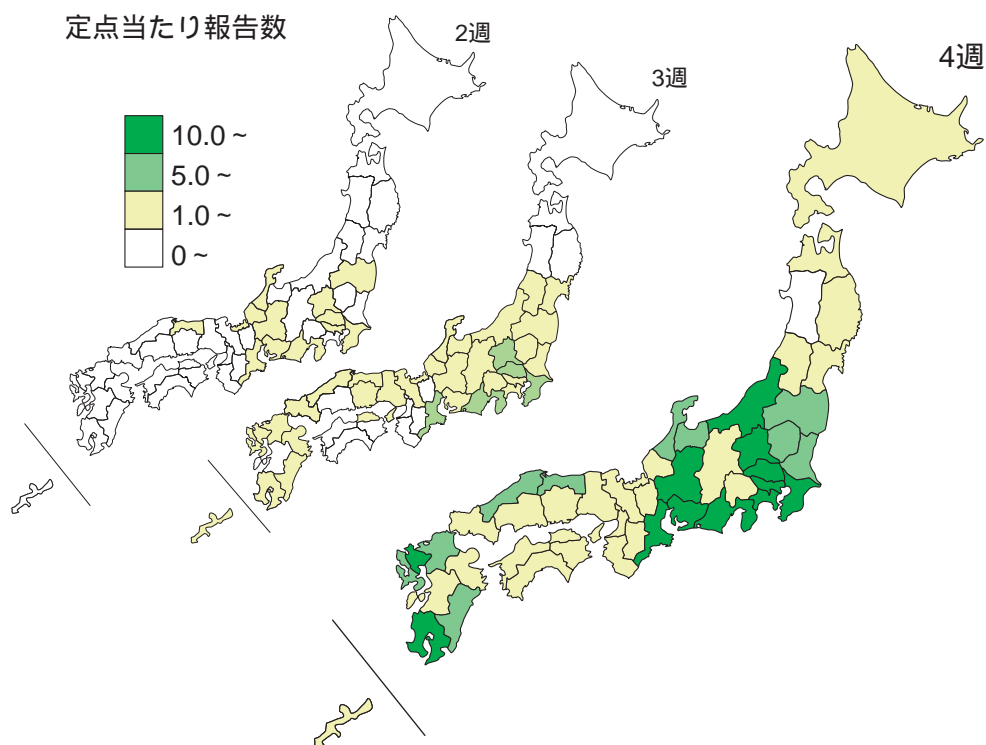


図2. インフルエンザの都道府県別発生状況 (2005年第4週)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2005年2月4日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

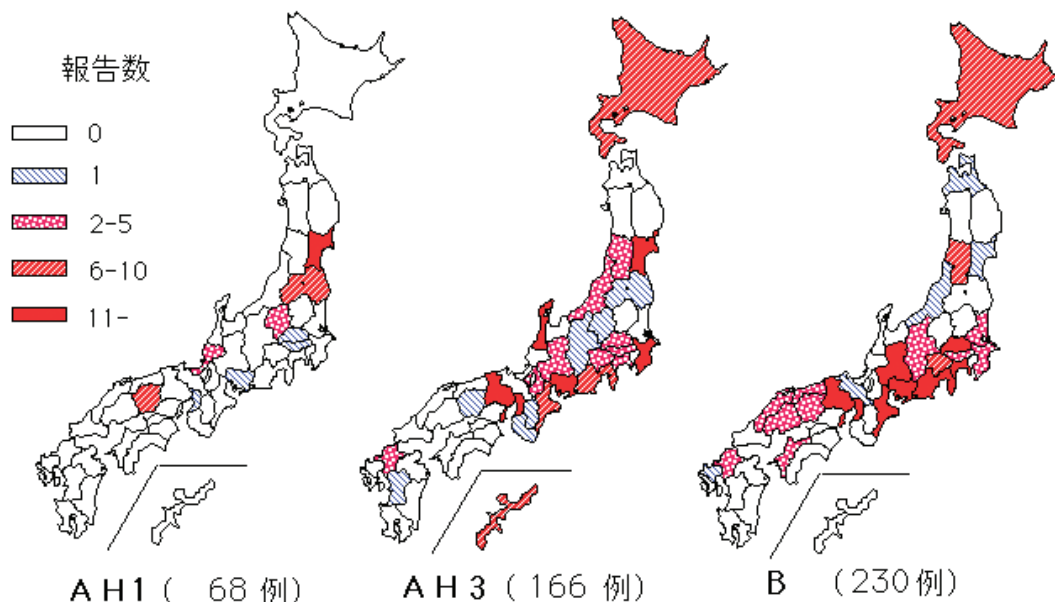
B型は新たに青森県(第52週)、埼玉県(第1週)、新潟県(第2週)、山梨県(第2週)、千葉県(第3週)、広島県(第3週)から分離が報告され、26都道府県から230件(うち1件はPCRのみによる検出)が報告されている。地域別では愛知県45、静岡県24、三重県19、埼玉県19、神奈川県18、兵庫県17などからの報告が多い。第52～4週までの週別報告数は8、2、9、42、63、57である。

AH3型は新たに静岡県(第1週)、山形県(第3週)、沖縄県(第3週)、岐阜県(第4週)から分離が報告され、北海道から沖縄県にかけての26都道府県から166件(うち3件はPCRのみによる検出)が報告されている。このうち、N型別された埼玉県からの5件はN2であった。地域別では千葉県27、宮城県17、大阪府15、愛知県12、兵庫県12、石川県12などからの報告が多い。第52～4週までの週別報告数は11、8、12、22、36、25である。

AH1型は9都府県から68件が報告されている。このうちN型別された埼玉県からの1件はN1であった。地域別では宮城県からの報告が36件と多く、次いで岡山県10、福島県8、群馬県5、福井県5などからの報告である。第52～4週までの週別報告数は29、5、3、3、0、0である。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報: 2005年2月4日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

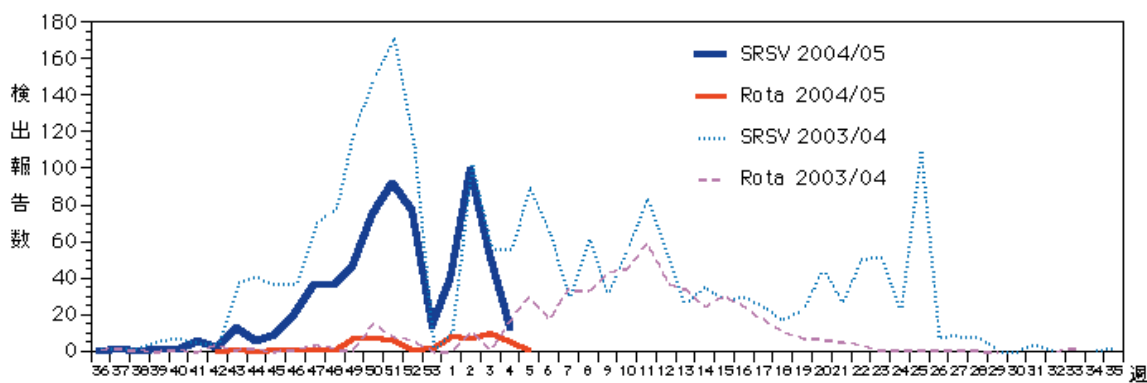
冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)の検出報告が増加しており、これまでに計632件が報告されている。昨シーズン(2003/04シーズン)と同じ第51週に91件でピークを形成し、年末に減少後、年明けに再び増加している。第52～4週までの週別報告数は76、13、39、99、51、12である。報告の約7割はノロウイルスgenogroup(G)IIで、23都府県(大阪府126、愛媛県47、秋田県43、広島県26、愛知県25など)から450件が報告されている。また、ノロウイルスGIIは12府県から28件(京都府6、愛媛県5、宮城県4、大阪府4など)、ノロウイルスG不明が127件(山形県84、奈良県16、新潟県1など)で、ノロウイルスは合計605件である。その他に、サポウイルスが21件(三重県10、愛媛県3、大阪府2、島根県2など)、電顕による検出が6件(福岡県3、広島県2、栃木県1)報告されている。SRSV検出例の年齢は、1歳が135件で最も多く、次いで0歳68件、2歳と3歳各53件で、6歳以下の小児からの検出が399件(68%)と多数を占める。一方、20歳以上の成人からの検出も109件(19%)が報告され、集団発生事例のみならず散発例からも検出が報告されている。

ロタウイルスはこれまでに60件が報告されており、内訳はA群58件、C群2件である。第52～4週までの週別報告数は1、2、8、7、10、5である。A群は宮城県20、岩手県12、大阪府10、鳥取県8など8府県から報告されている(他に徳島県3、奈良県2、秋田県、埼玉県、島根県各1)。A群検出例全体の4分の3は3歳以下の乳幼児である。C群の2件は、第53週に岡山県の福祉・養護施設内で起きた集団発生事例で、いずれも成人からの検出である。

週別SRSV&ロタウイルス検出報告数の推移、2003/04、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報：2005年2月4日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。





クロイツフェルト・ヤコブ病の発生届の報告について

健感発第0207001号
平成17年2月7日

都道府県
各 政 令 市 衛生主管部(局)長 殿
特 別 区

厚生労働省健康局結核感染症課長

クロイツフェルト・ヤコブ病の発生届の報告について

クロイツフェルト・ヤコブ病については、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条第6項に規定する五類感染症(全数把握)であるが、今般、日本人に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病が確認されたことにかんがみ、当分の間、同法第12条2項に基づく厚生労働大臣への報告については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について」(平成11年3月19日付け健医発第458号保健医療局長通知)に基づくオンラインによる伝送のほか、届出票の写しを添付して厚生労働大臣(健康局結核感染症課)まで報告願いたい。

なお、本通知は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第245条の9第1項に規定する都道府県が法定受託事務を処理するに当たりよるべき基準とする。



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

鳥インフルエンザ状況 - ベトナムとカンボジア

WHO/CSR 2005年2月2日更新

カンボジアで初の鳥インフルエンザウイルスA(H5)型感染患者。

ベトナム保健省は2月2日に、検査によって診断された新たなH5型鳥インフルエンザウイルス感染確定患者1名を報告した。患者はカンボジアのKampot州出身の25歳女性で、2005年1月21日に呼吸器症状が出現した。彼女は、1月27日に隣接するベトナム国内の医療機関を受診し、1月30日にベトナムのKien Giang地域病院で死亡した。ベトナムのホーチミン市にあるパスツール研究所で実施された検査で、2月1日に鳥インフルエンザA(H5)型が陽性となった。この患者は、カンボジアから報告された第1例目のH5型ウイルス感染患者である。カンボジア保健省と農業省、WHOの合同調査チームが、Kampot省で患者周辺の状況調査を実施している。

東ティモールでのデング出血熱流行

WHO/CSR 2005年2月3日更新

Timor-Lesteにおけるデング出血熱 - WHO更新情報

2月1日時点でWHOは、デング感染患者95名と死亡者11名(致死率11.6%)の報告を受けた。患者95名中、61名がデング出血熱(DHF)に一致した臨床症状を呈し、34名がWHO標準症例定義により、デング熱(DF)疑い患者と診断された。DF/DHF患者を報告した地区はパウカウ、ディリ、Liquica、マリアナ、マナウトで、89.9%の患者がディリから報告されている。保健省はWHO支援の下で、医師や看護師にDF/DHF患者管理のセミナーを実施している。WHOはDF/DHF患者管理、ハイリスク地域への介入に関してディリ国立病院を支援している。その他の感染制圧活動として、ベクター駆除や保健教育活動も実施している。

中国での流行性髄膜炎発生について

http://www.moh.gov.cn/news/more_index.aspx?tp_class=C601&url_addr=/news/sub_index.aspx

中国衛生部 2005年1月31日、2005年2月5日

2004年11月から2005年1月30日までの、中国全土の髄膜炎菌性疾患報告数は546例であった。2005年以来、福建省、海南省、チベット自治区を除く各省で報告があり、上位5位は安徽省、河南省、河北省、江蘇省、四川省であった。

1月の中国全土の髄膜炎菌性疾患報告数の累計は258名で、16名が死亡した。28の省、自治区、直轄市から報告があり、安徽省では21県から49例、河南省では23県から30例、河北省では17県から19例、江蘇省では16例、四川省では16例で、その他の省からは各省10例以下の報告があった。



感染症の話

マラリア

マラリア(Malaria)は亜熱帯・熱帯地域の住民におけるmoribidityおよびmortalityとして重要度の高い疾患である。また、旅行者の疾患としても重要性が高まっているが、この場合には流行地住民のマラリアとは異なる視点での対応も必要である。マラリアのなかでも熱帯熱マラリアは迅速かつ適切な対処をしないと、短期間で重症化あるいは死亡に至る危険性がある。

疫学

マラリアは世界で100カ国以上にみられ、世界保健機関(WHO)の推計によると、年間3～5億人の罹患者と150～270万人の死亡者があるとされる。この大部分はサハラ以南アフリカにおける5歳未満の小児である。サハラ以南アフリカ以外にもアジア、特に東南アジアや南アジア、パプアニューギニアやソロモンなどの南太平洋諸島、中南米などにおいても多くの発生がみられる。全世界で、旅行者が帰国してから発症する例も年間3万人程度あるとされる。

国内での報告数は、1999年4月以前の伝染病予防法での届出によると、1990年代には年間50～80人で推移していた。しかし、感染症法施行以降の報告数は増加し、1999年(4～12月)には112例、2000年1～12月には154例に達した。しかしその後、2001年は109例、2002年は83例、2003年は78例と減少している。

病原体

病原体は*Plasmodium*属の原虫であるが、ヒトに疾患を起こすのは熱帯熱マラリア原虫(*P. falciparum*)、三日熱マラリア原虫(*P. vivax*)、卵形マラリア原虫(*P. ovale*)、四日熱マラリア原虫(*P. malariae*)の4種類である。

マラリア原虫は、媒介動物であるハマダラカ(*Anopheles*)の唾液腺にスポロゾイトとして集積している。メスのハマダラカは産卵のために吸血を行うが、その際に唾液を注入するので、その中のスポロゾイトが体内に侵入する。血中に入ったスポロゾイトは45分程度で肝細胞内に取り込まれ、しばらくして分裂を開始し、分裂小体(メロゾイト)が数千個になった段階で肝細胞を破壊して血中に放出される。メロゾイトは赤血球に侵入し、輪状体(早期栄養体)、栄養体(後期栄養体、あるいはアメーバ体)、分裂体の経過をたどり、8～32個に分裂した段階で赤血球膜を破壊して放出され、メロゾイトは新たな赤血球に侵入して上記のサイクルを繰り返す。これが無性生殖のサイクルである。三日熱マラリア原虫と卵形マラリア原虫の場合には、肝細胞内で長期間潜伏状態となる休眠原虫も形成され、これが後になって分裂を開始して血中に放出されると、再発を生ずることになる。

無性生殖を繰り返しているうちに、一部の原虫は雌雄の区別がある生殖母体(有性原虫)へと分化する。これはヒト体内では合体受精をしないが、ハマダラカに吸われるとその中腸内で合体受精して最終的にオーシストとなり、その中に多数のスポロゾイトが形成され、それらが唾液腺に集積する。

熱帯熱マラリア原虫が感染した赤血球は、表面に種々の原虫由来物質を表出する。そのなかでPfEMP1は、細小血管内皮細胞表面の接着分子であるICAM-1(特に脳)、CD36(特に脳以外)その他と結合する性質を有するが、これゆえに感染赤血球が脳血管などでsequestrationを生じ、脳症などを引き起こすものと考えられている¹⁾。

臨床症状・徴候

流行地で生まれ育ち、何度もマラリアに罹患して多少の免疫を得ている者(semi-immune)では、発熱などの症状が軽度かみられないこともあるが、流行地に住んでいない者では免疫が得られず(non-immune) 発熱は必発であると言ってよい。発熱には悪寒を伴うが、戦慄は特に熱帯熱マラリアではみられないこともある。発熱に伴い、倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛などがみられることも多い。ときには発熱以外に腹部症状、すなわち悪心・嘔吐、下痢、腹痛や、呼吸器症状すなわち乾性咳嗽がみられることもある。

一般検査所見では血小板減少、LDH上昇、総コレステロール(特にHDLコレステロール)低下、血清アルブミン低下などが高頻度に見られる²⁾。貧血は長期化するとみられるが、病初期にはみられないことも多い。

熱帯熱マラリアで重症化すると脳症、腎症、肺水腫/ARDS (図1) DIC様出血傾向(図2) 重症貧血、代謝性アシドーシス、低血糖、黒水熱(高度の血色素尿症)など種々の合併症を生じる。これらの詳細はWHOの重症マラリアのガイドライン³⁾に詳しい。



図1. 重症マラリア症例における肺水腫/ARDSの胸部レ線像
両肺野全体に異常陰影があるが、特に右肺に顕著である。



図2. 重症マラリア症例における出血傾向
左上肢に広範な出血斑がみられる。

病原診断

血液塗抹標本をギムザ染色し、光学顕微鏡で検査する方法(顕微鏡法)がgold standardである。塗抹標本には厚層塗抹と薄層塗抹があり、理論上は厚層塗抹の方が多くの血液量を検査できるので診断感度が高いと言えるが、実際上は原虫形態の判別が容易でないことがあり、通常は薄層塗抹標本を詳細に観察することが推奨される。原虫が認められた場合には原虫種の判定を行うが、熱帯熱マラリア原虫とそれ以外のマラリア原虫とを区別することが重要である。

血液塗抹標本で見られる熱帯熱マラリア原虫は通常、輪状体のみであり、数が少ないときなど見逃しやすい。したがって他の検査手段、すなわち抗原検出法やPCR法などを併用することが望ましい。

抗原検出法には大別して2種類あり、一方は熱帯熱マラリア原虫のhistidine-rich protein 2 (HRP2)を主体に検出し、他方はマラリア原虫特異的LDH(pLDH)を検出する⁴⁾。前者のキットとしてはNow® Malaria(Binax社)があり、後者としてはOptiMAL-IT(DiaMed社)があるが、両者ともに国内では販売されていない。両者ともに熱帯熱マラリア原虫とそれ以外の3種のマラリア原虫を区別して検出する。熱帯熱マラリア原虫の検出には、一般にHRP2検出系の方がpLDH検出系より優れている⁵⁾。

PCR法としては種々の研究室で種々の方法が開発されているが、岡山大学綿矢および湧永製薬山根らの開発になる方法(PCR-MPH法)は優れている²⁾。ある程度の設備と技術が必要ではあるが、4種類のマラリア原虫を区別して感度良く検出でき、顕微鏡法を補うものとして、あるいは顕微鏡法の技術を高めるものとして有用である。

治療・予防

三日熱マラリア、卵形マラリア、四日熱マラリアでの急性期治療としてはクロロキンが用いられるが、三日熱マラリアではパプアニューギニア、インドネシアなどでクロロキン耐性が出現していることも念頭におく⁶⁾。クロロキンが入手不可能な場合には、スルファドキシシ/ピリメタミン合剤(ファンシダール[®])、メフロキン(メファキン「エスエス」[®])なども用いられる。三日熱マラリアと卵形マラリアの場合、急性期治療が成功した後、肝臓に潜む休眠原虫を殺滅する根治療法としてプリマキンを用いる。

熱帯熱マラリアではクロロキン耐性が進行しているため、クロロキン以外の薬剤を用いるべきである。スルファドキシシ/ピリメタミン合剤も耐性が進行しつつあり、望ましくない。メフロキンは、タイ・カンボジアあるいはタイ・ミャンマーなどの国境地帯の感染を除けば、有効なことが多い。欧米ではキニーネ経口薬とドキシサイクリン、あるいはクリンダマイシンとの併用も行われる。アトバコン/プログアニル合剤(Malarone[™])も薬剤耐性熱帯熱マラリアに有効であり、欧米ではアーテメター/ルメファントリン合剤(Riamet[®])も使われ始めたが、特に後者の場合、non-immuneでのデータは未だ少ない⁶⁾。

重症マラリアでは非経口的な投与が必要であり、キニーネ注射薬が標準的であるが、最近ではアーテメシニンおよび誘導体の注射や坐剤が用いられることがある^{2,3)}。

国内で販売されている抗マラリア薬はキニーネ経口薬、ファンシダール[®]、メファキン「エスエス」[®]の3種類のみであるが、他の抗マラリア薬は「熱帯病治療薬研究班(略称)」(筆者は班員、<http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/didai/orphan>)が保管している。

重症マラリアでは適切な抗マラリア薬療法以外に、合併症の病態に応じた適切な支持療法も重要である。詳細はWHOのガイドライン³⁾の記載にゆずるが、欧米での最近の傾向として交換輸血が積極的に行われ、しかも評価されていることが挙げられる²⁾。

予防の3原則は、1)蚊による刺咬を避けること、2)予防内服(予防的に抗マラリア薬を服用すること)、3)スタンバイ治療(マラリアが疑われるときに、自らの判断で抗マラリア薬を服用すること)であるが、1)はマラリア流行地に行く場合に必ず行うべきことであり、2)はマラリアの罹患や重症化のリスクを検討して、抗マラリア薬の副作用を上回るメリットがあると判断される場合に行う。3)も2)と同様に抗マラリア薬を使用するが、高度に熟練した医師のみが処方すべきものと思われる。マラリア予防については、新しい専門分野である「旅行医学」において活発に議論されている。

感染症法における取り扱い

マラリアは四類感染症であり、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの。

- ・病原体の検出

- 例 血液塗抹標本による顕微鏡下でのマラリア原虫の証明と、鏡検による虫種の確認など

- ・病原体の遺伝子の検出

- 例 PCR法など

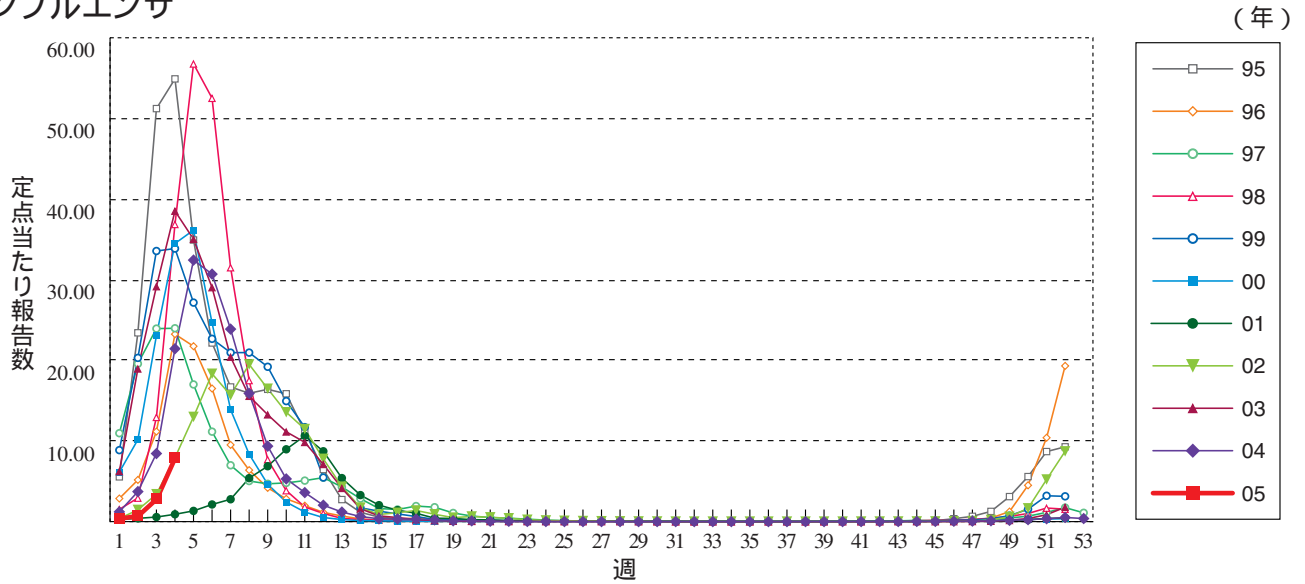
【引用文献】

- 1)Miller, L.H., Baruch, D.I., Marsh, K., Doumbo, O.K.: The pathogenic basis of malaria. *Nature* 415:673-679, 2002
- 2)木村幹男 : マラリアにおける診断と治療の現況 . *感染症誌* 76:585-593, 2002
- 3)World Health Organization: Severe falciparum malaria. *Trans. R. Soc. Trop. Med. Hyg.* 94 (Supple 1):S1/1-1/90, 2000
- 4)Moody, A.: Rapid diagnostic tests for malaria parasites. *Clin. Microbiol. Rev.* 15:66-78, 2002
- 5)木村幹男 , 大友弘士 , 熊谷正弘 , 廣重由可 : 旅行者によるマラリア診断キット使用の問題 . *日熱帯医学会誌* 28:1-7, 2000
- 6)Hatz, C.: Clinical treatment of malaria in returned travelers. In: *Travelers ' Malaria* (Schlagenhauf, P. ed.), BC Decker, p.431-445, 2001

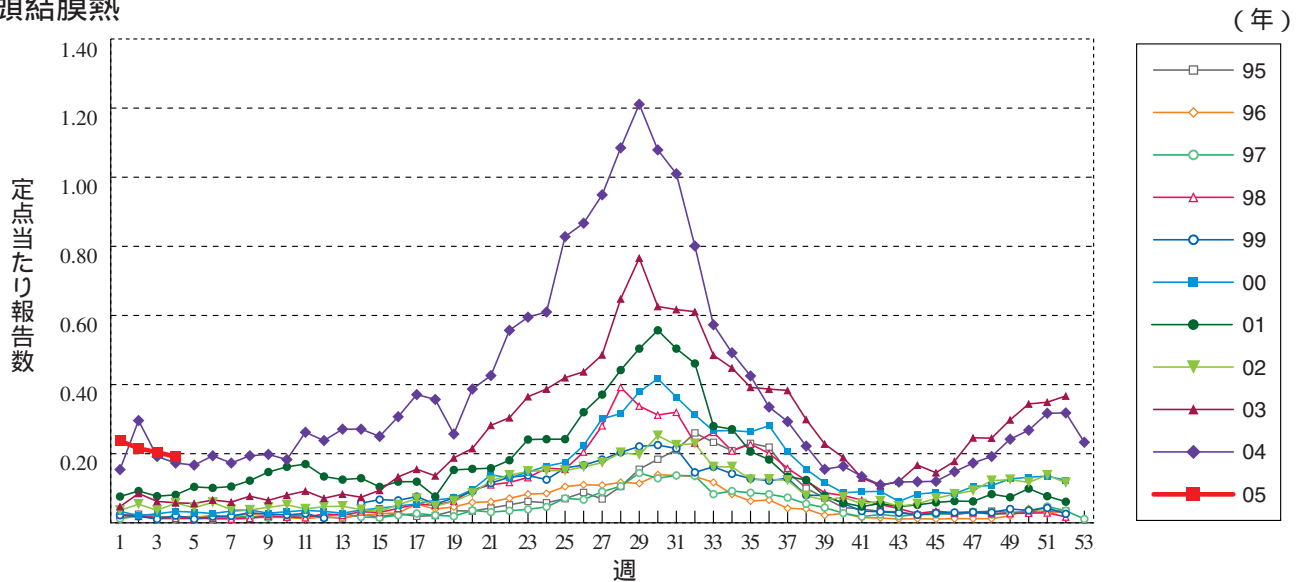
(国立感染症研究所感染症情報センター 木村幹男)

グラフ総覧(4週)

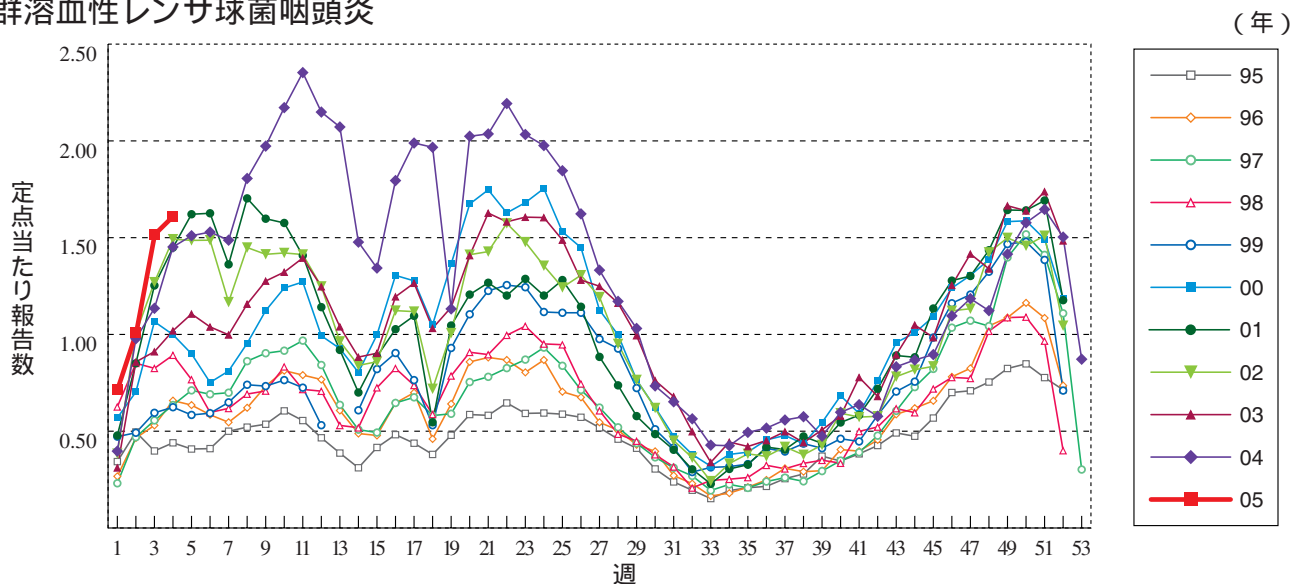
インフルエンザ



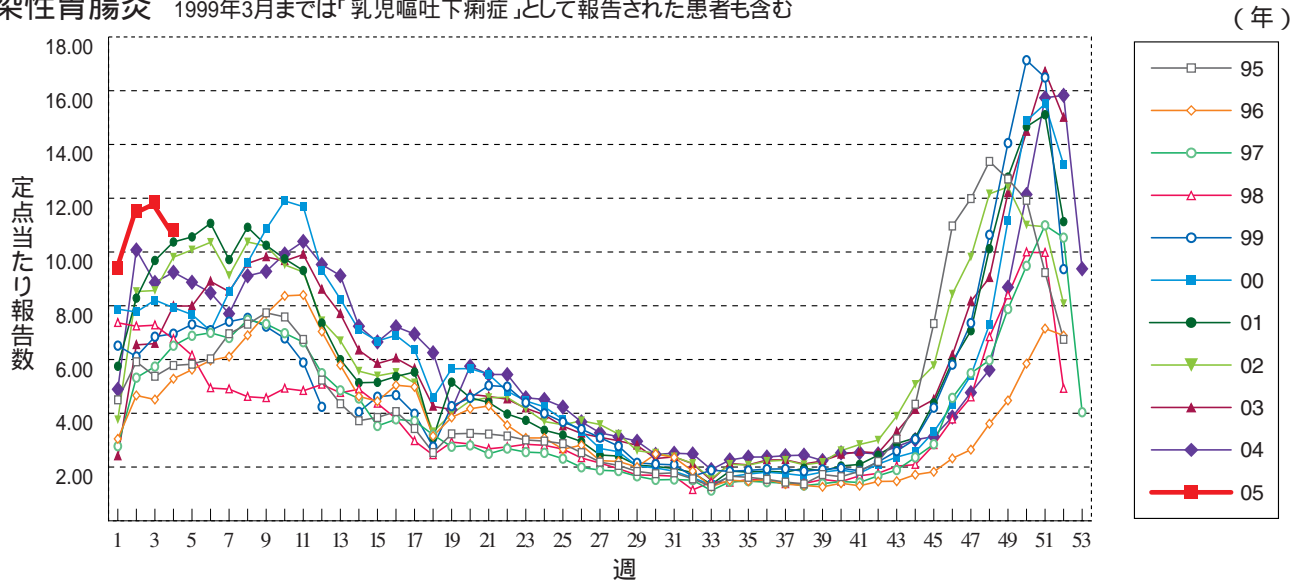
咽頭結膜熱



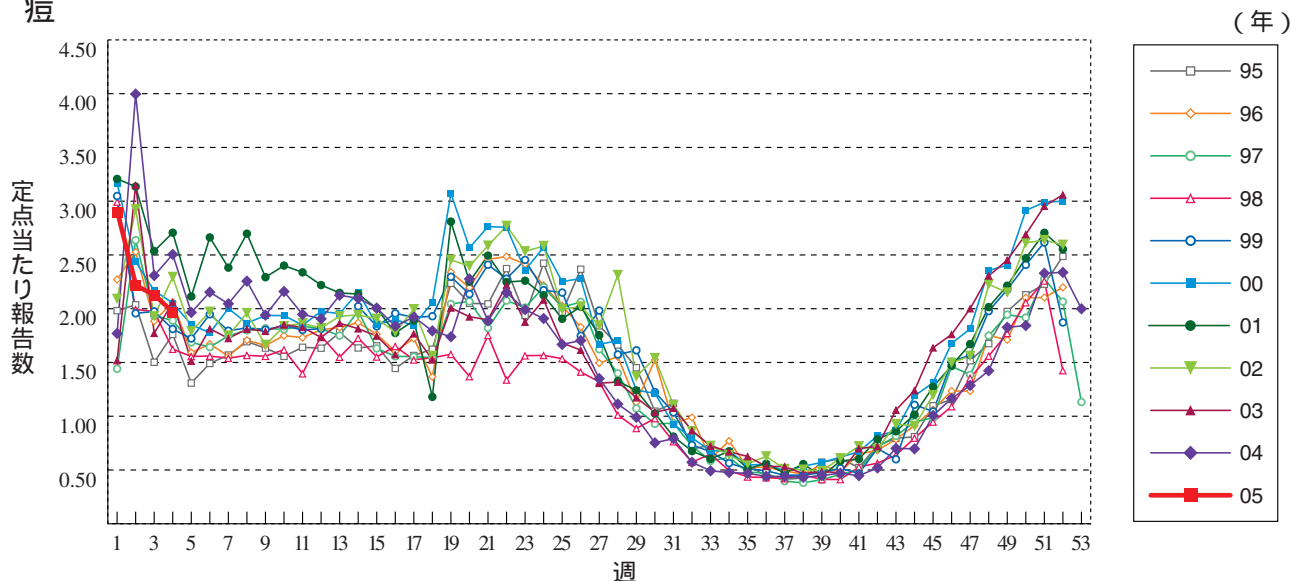
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



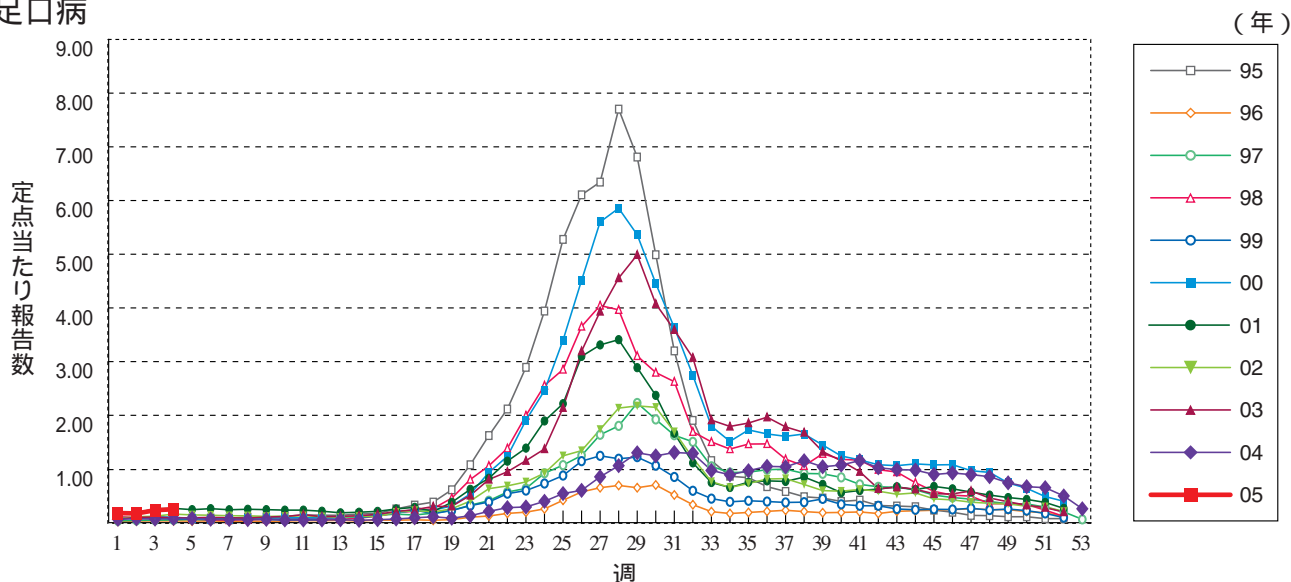
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



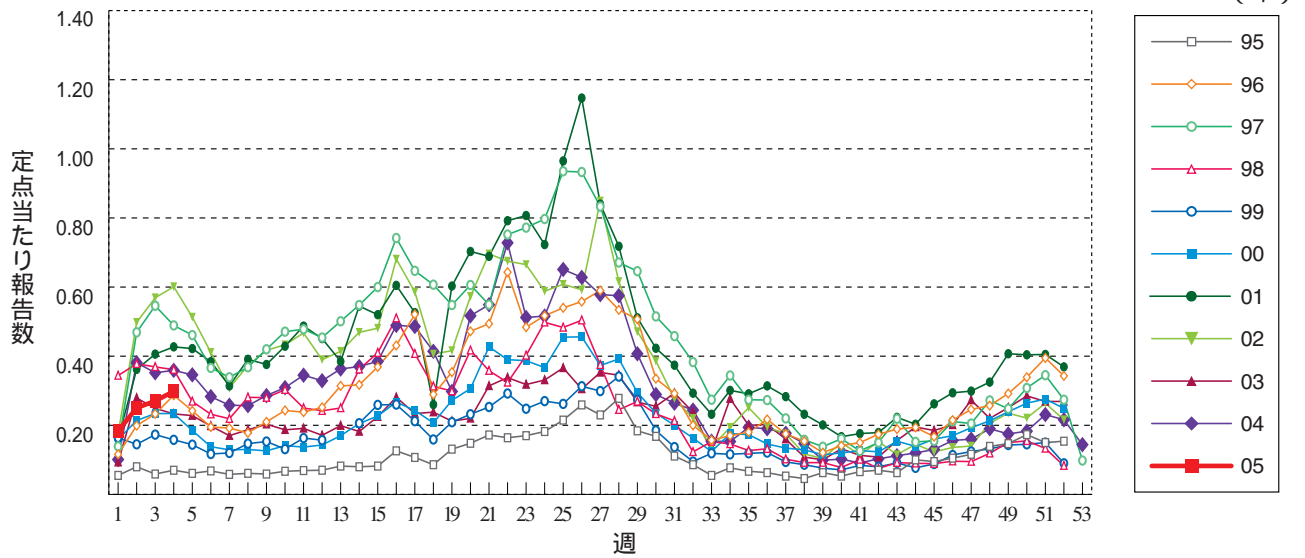
水痘



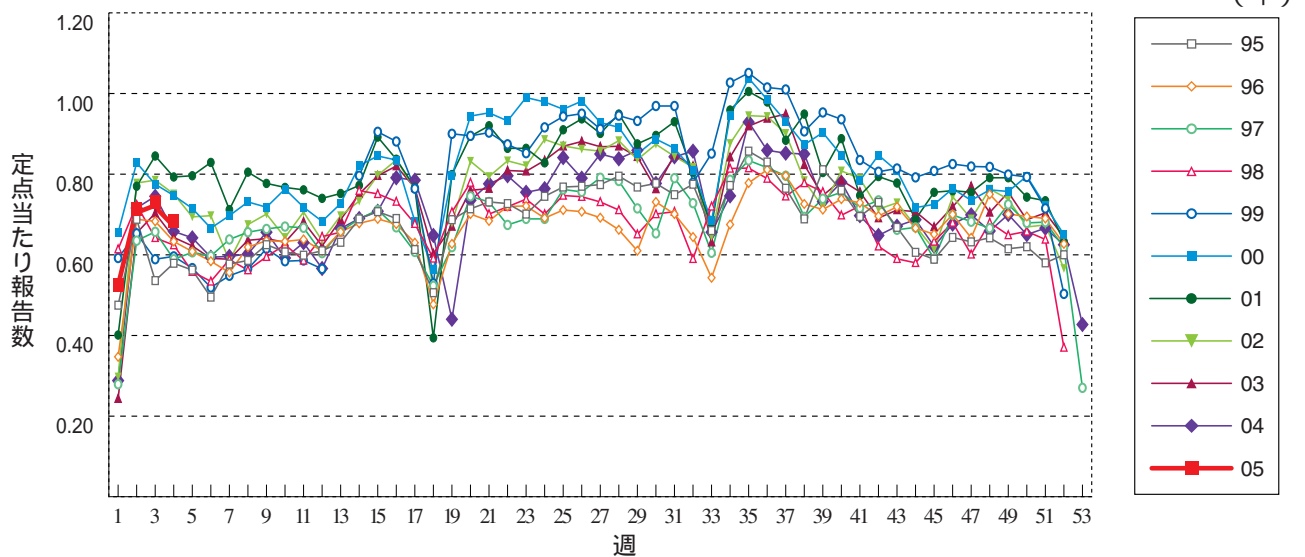
手足口病



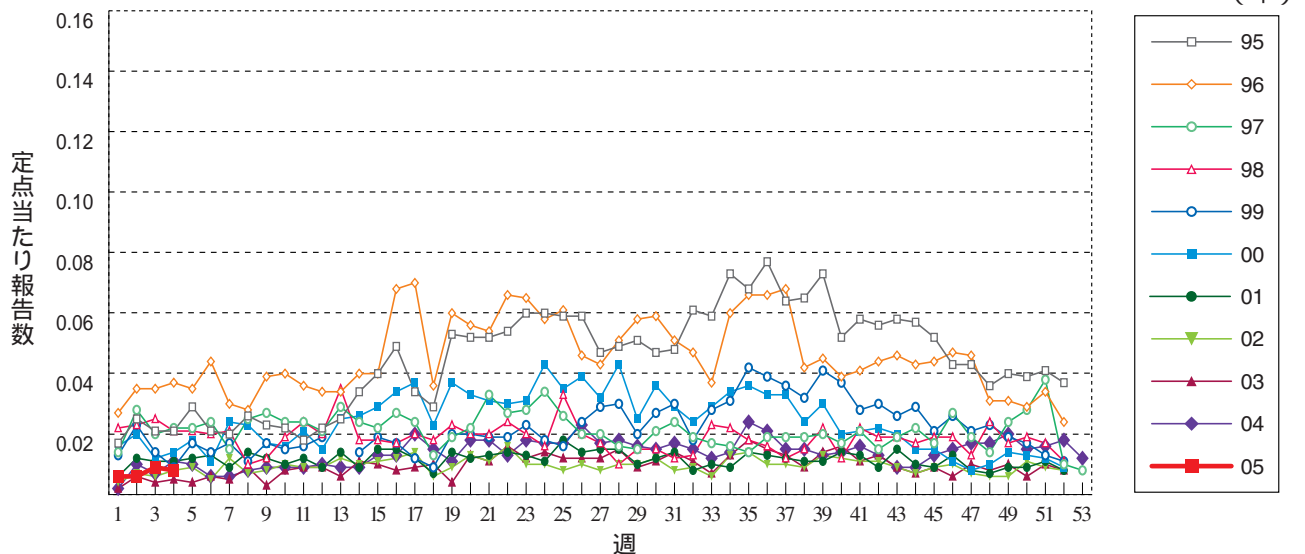
伝染性紅斑



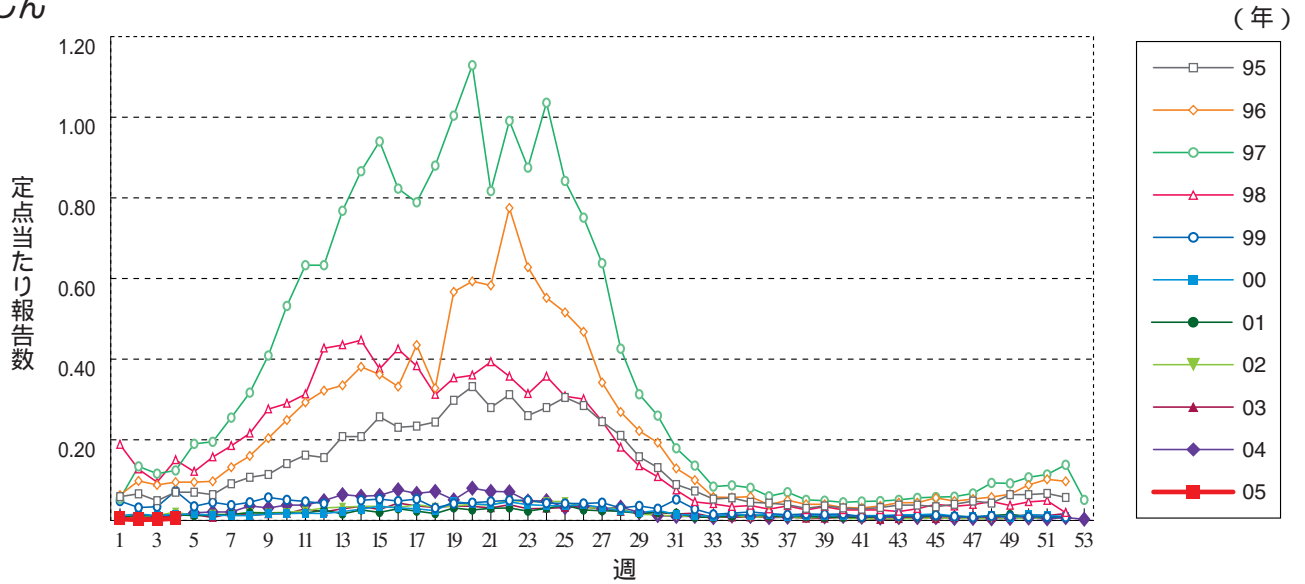
突発性発しん



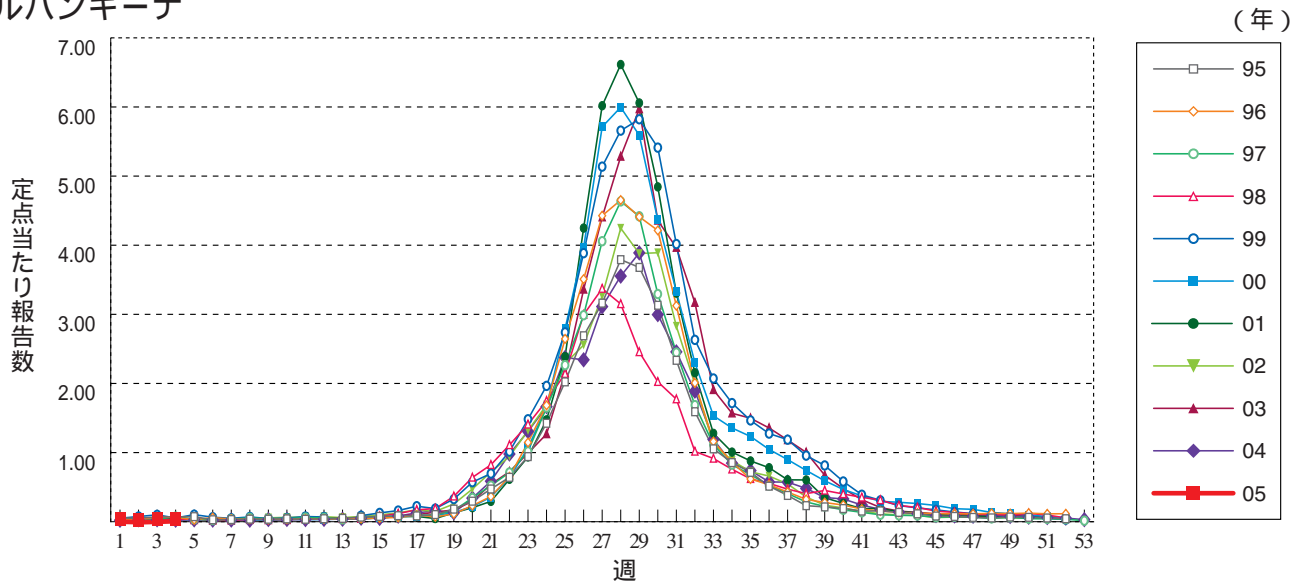
百日咳



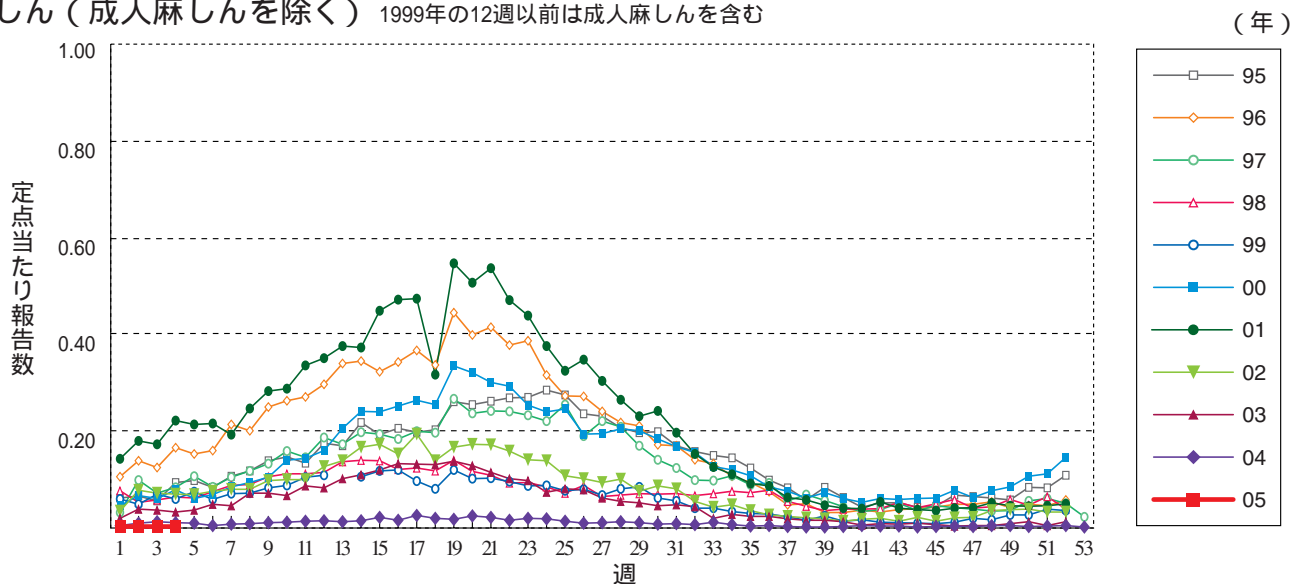
風しん



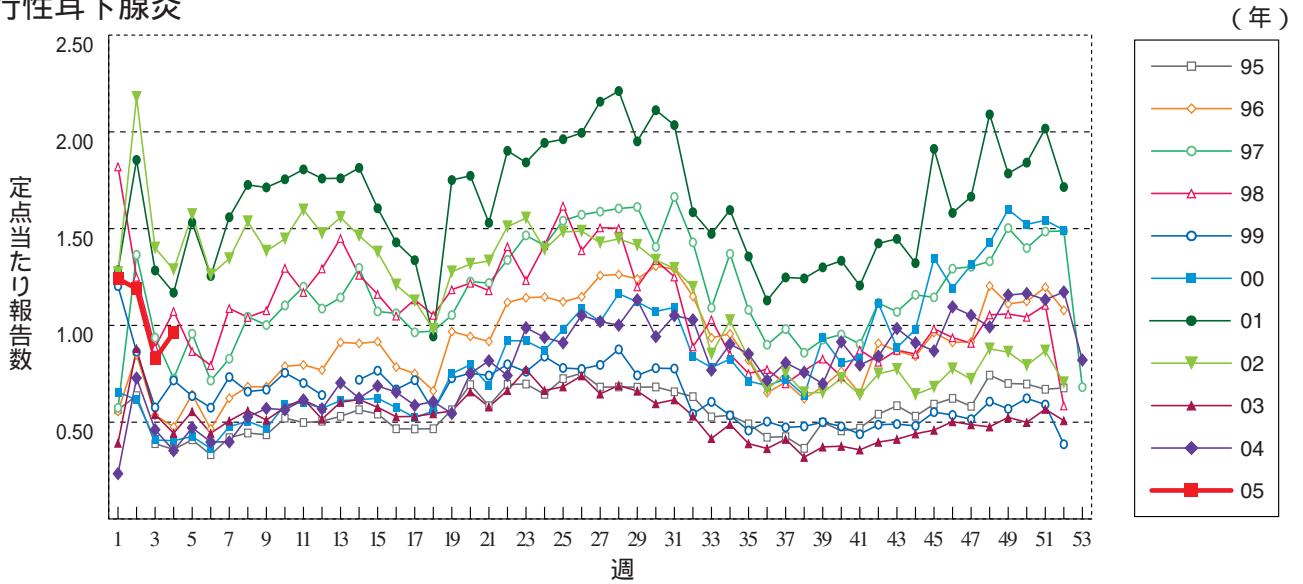
ヘルパンギーナ



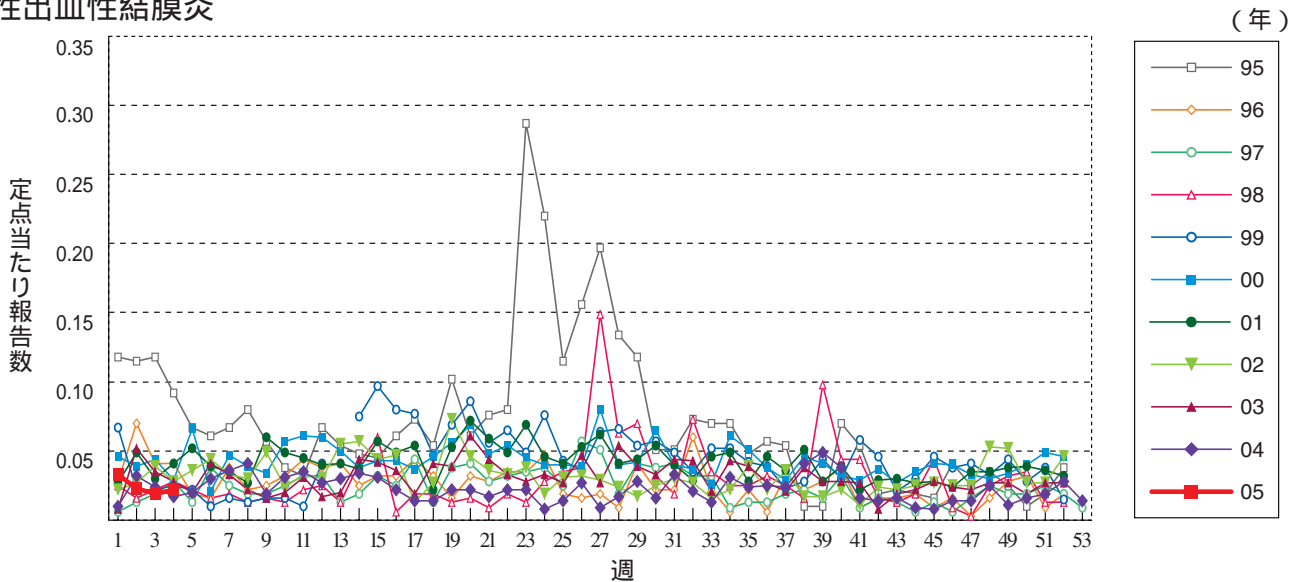
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



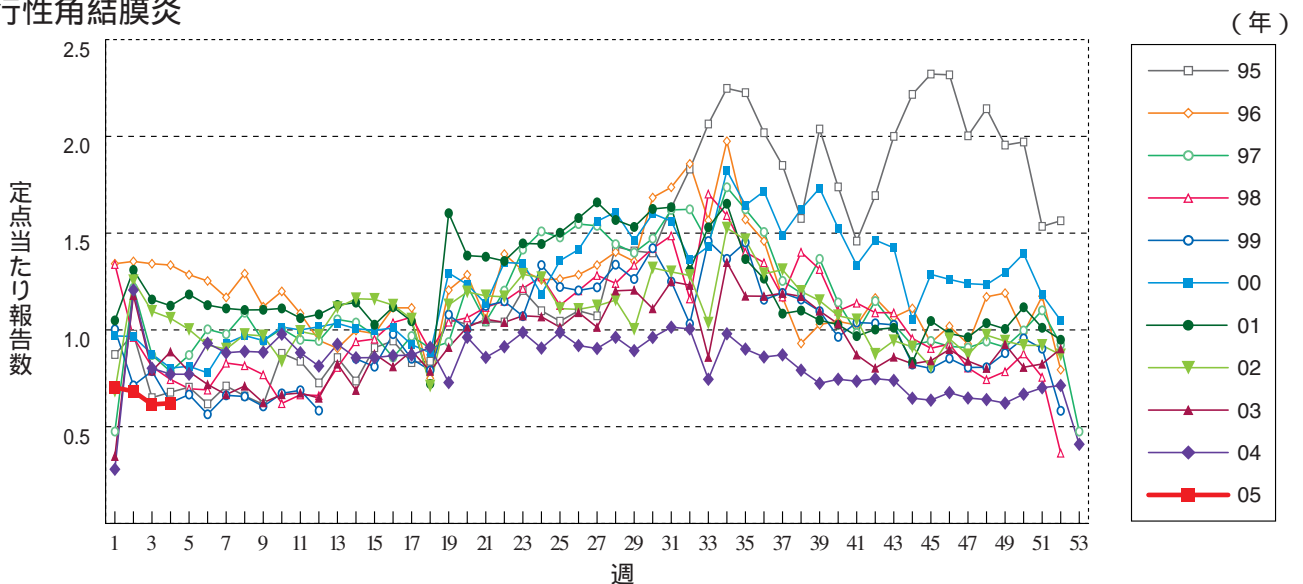
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

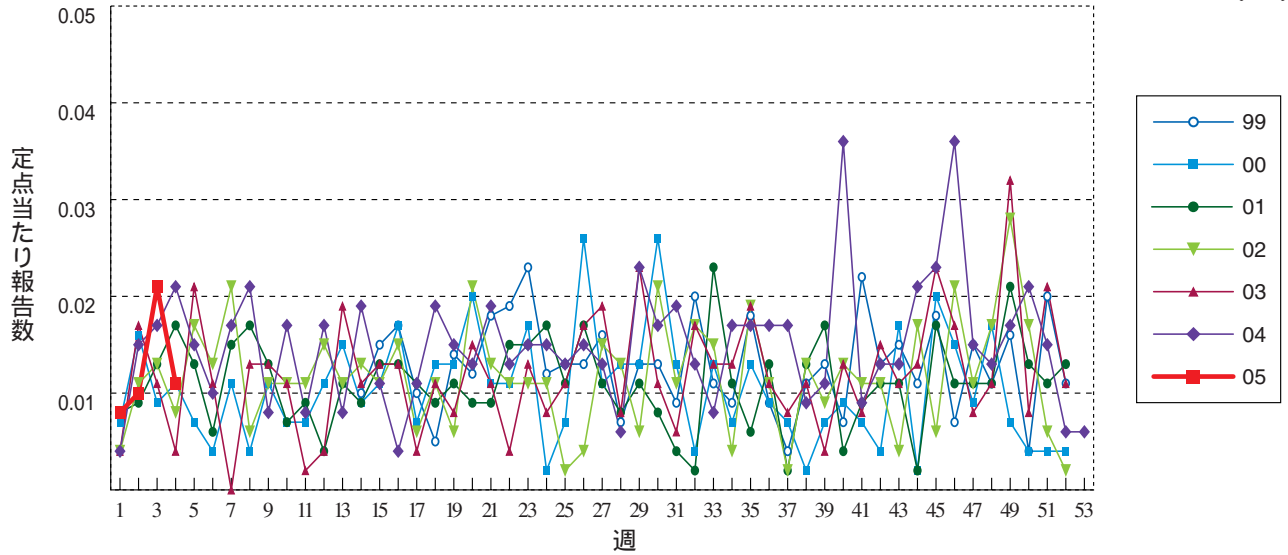


流行性角結膜炎



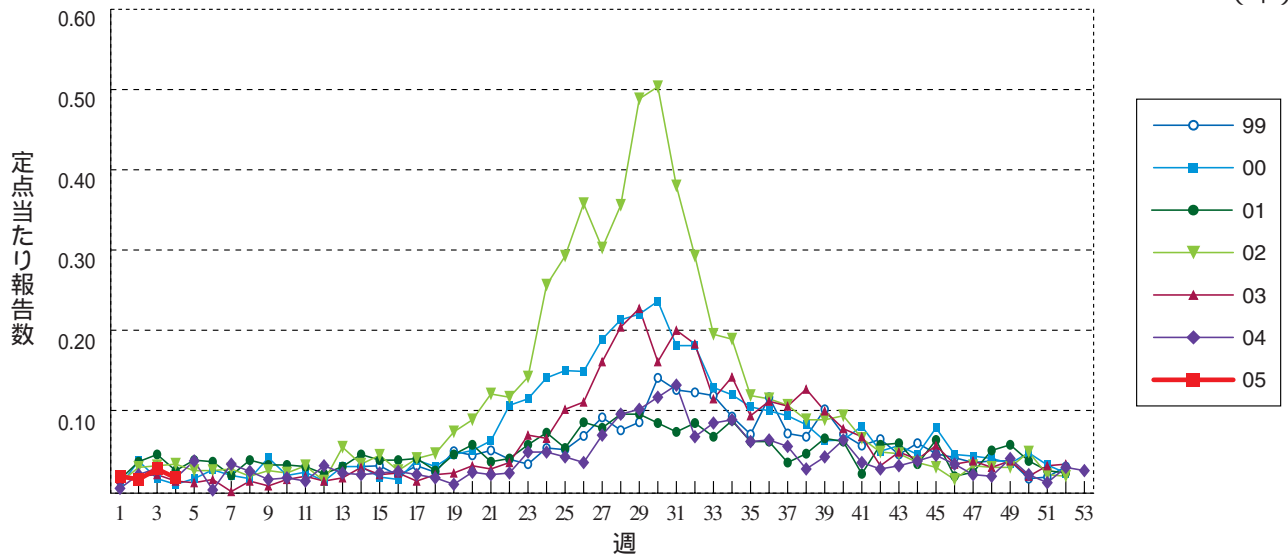
細菌性髄膜炎

(年)



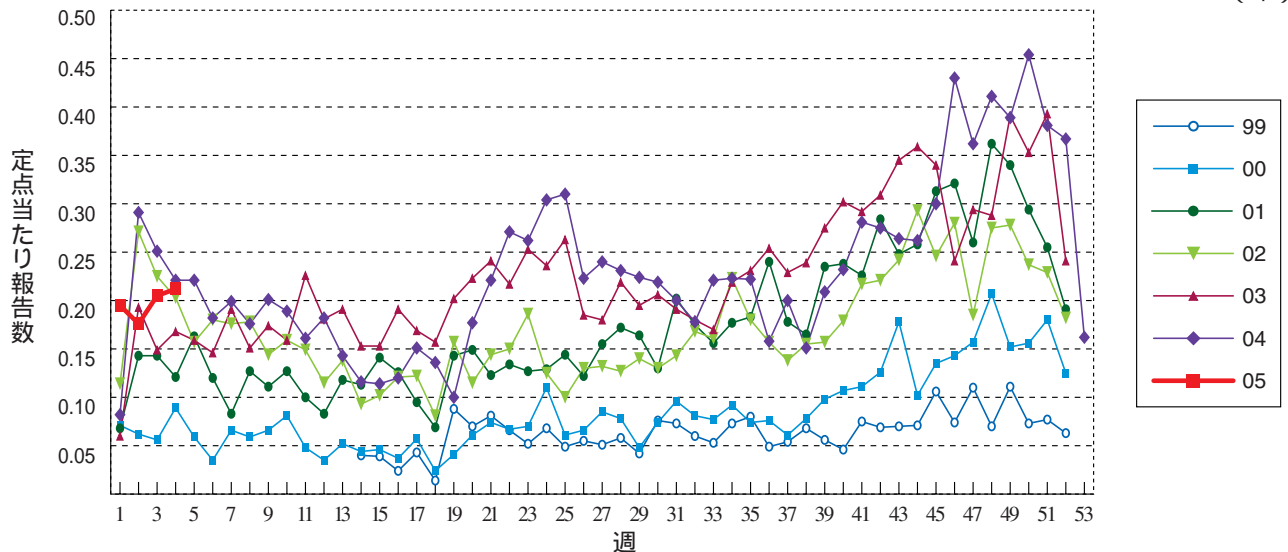
無菌性髄膜炎

(年)

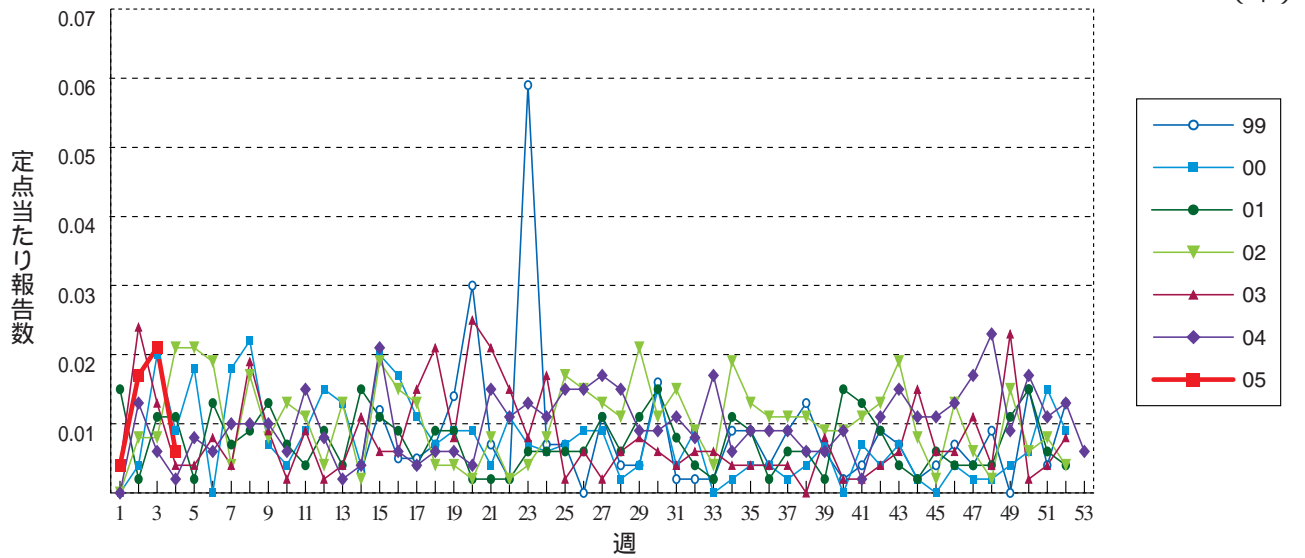


マイコプラズマ肺炎

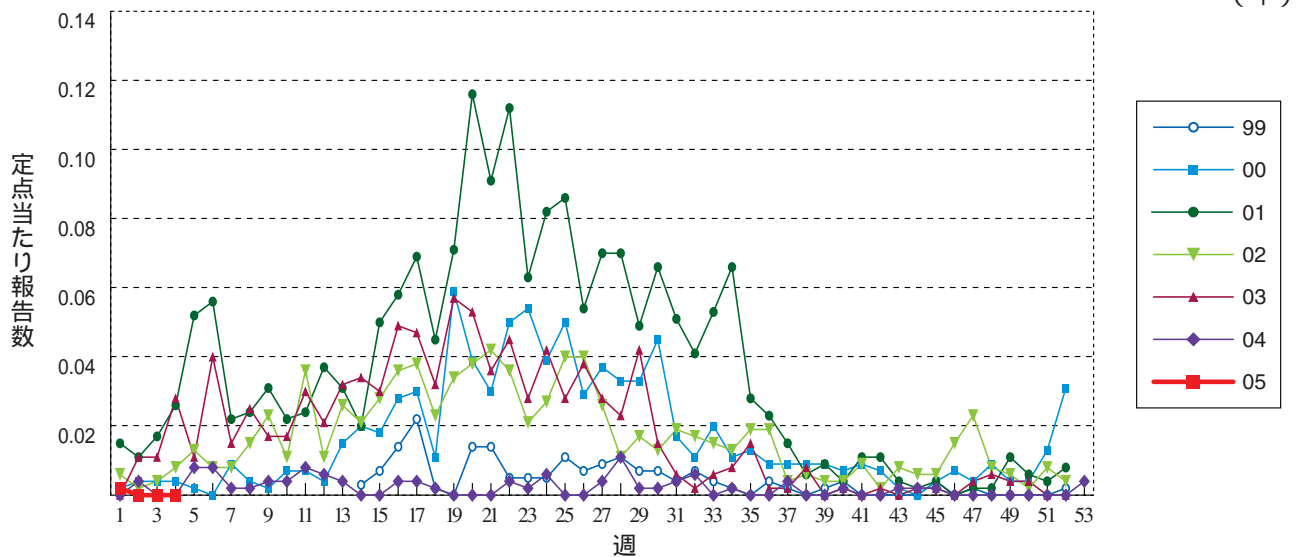
(年)



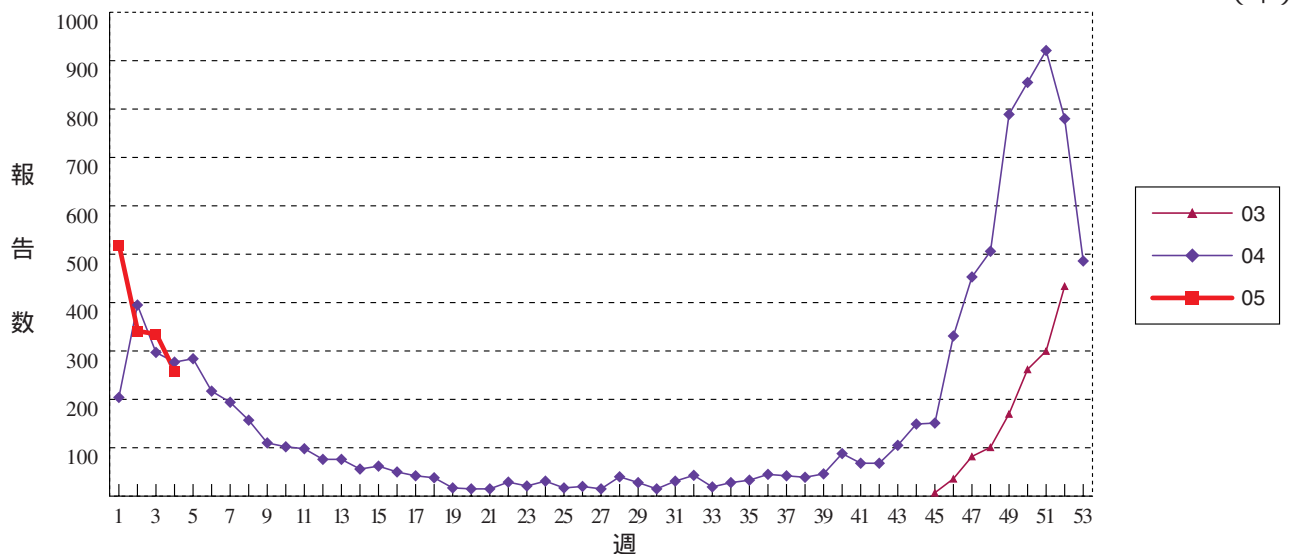
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻しん



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





4週のデータ

注)表中の報告数は2月3日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年4週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	10	38	1	5	1	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年4週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	11	40	6	49	-	-	-	-	-	5	-	-	1	19
北海道	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	2	3	2	11	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	1	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	3	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	2	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年4週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	1	-	-	-	-	3	10	-	6	15	63	-	-	-	2	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	1	7	17	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	10	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年4週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	1	1	-	-	-	-	18	-	2	-	-	-	-	9	27	-	3	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
東京都	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年4週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	2	9
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年4週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	3	-	-	3	12	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年4週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年4週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	37332	7.94	584	0.19	4915	1.61	32952	10.80	6001	1.97	763	0.25	908	0.30	2088	0.68	24	0.01
北海道	547	2.42	75	0.52	321	2.24	431	3.01	255	1.78	11	0.08	41	0.29	76	0.53	1	0.01
青森県	122	1.88	5	0.12	59	1.40	262	6.24	81	1.93	32	0.76	6	0.14	21	0.50	-	-
岩手県	90	1.45	4	0.11	26	0.70	441	11.92	91	2.46	4	0.11	17	0.46	14	0.38	-	-
宮城県	477	4.82	3	0.05	114	1.87	1157	18.97	158	2.59	19	0.31	44	0.72	53	0.87	4	0.07
秋田県	40	0.73	10	0.29	61	1.74	469	13.40	71	2.03	-	-	10	0.29	15	0.43	-	-
山形県	190	3.96	4	0.13	112	3.73	335	11.17	96	3.20	4	0.13	33	1.10	31	1.03	-	-
福島県	667	8.34	12	0.25	50	1.04	654	13.63	88	1.83	20	0.42	49	1.02	31	0.65	1	0.02
茨城県	850	7.39	19	0.26	121	1.64	463	6.26	107	1.45	3	0.04	9	0.12	44	0.59	-	-
栃木県	602	8.60	2	0.04	62	1.35	354	7.70	75	1.63	5	0.11	22	0.48	30	0.65	1	0.02
群馬県	1579	15.79	5	0.08	98	1.58	463	7.47	111	1.79	22	0.35	15	0.24	39	0.63	-	-
埼玉県	4457	17.34	14	0.09	206	1.28	1740	10.81	275	1.71	26	0.16	42	0.26	97	0.60	-	-
千葉県	3333	15.57	15	0.11	191	1.43	1244	9.28	248	1.85	51	0.38	29	0.22	105	0.78	2	0.01
東京都	2234	12.55	21	0.15	136	0.96	1278	9.00	209	1.47	26	0.18	37	0.26	81	0.57	2	0.01
神奈川県	4160	12.42	33	0.16	238	1.16	1955	9.49	292	1.42	26	0.13	67	0.33	168	0.82	1	0.00
新潟県	1002	10.12	26	0.43	220	3.67	520	8.67	134	2.23	11	0.18	9	0.15	44	0.73	1	0.02
富山県	356	7.42	4	0.14	78	2.69	393	13.55	62	2.14	5	0.17	18	0.62	13	0.45	-	-
石川県	340	7.08	9	0.31	65	2.24	432	14.90	68	2.34	27	0.93	5	0.17	19	0.66	-	-
福井県	130	4.06	24	1.09	38	1.73	696	31.64	67	3.05	1	0.05	7	0.32	18	0.82	-	-
山梨県	74	1.80	1	0.04	47	1.88	119	4.76	31	1.24	6	0.24	20	0.80	10	0.40	-	-
長野県	419	4.76	5	0.09	159	2.89	629	11.44	130	2.36	5	0.09	13	0.24	27	0.49	2	0.04
岐阜県	931	11.08	11	0.21	48	0.91	286	5.40	71	1.34	6	0.11	3	0.06	31	0.58	-	-
静岡県	1810	13.21	9	0.10	140	1.63	1078	12.53	143	1.66	29	0.34	14	0.16	74	0.86	1	0.01
愛知県	2174	11.15	32	0.18	237	1.30	1650	9.07	269	1.48	36	0.20	38	0.21	114	0.63	-	-
三重県	1527	20.92	6	0.13	51	1.13	636	14.13	84	1.87	19	0.42	2	0.04	44	0.98	-	-
滋賀県	116	2.27	5	0.15	15	0.45	202	6.12	79	2.39	15	0.45	1	0.03	15	0.45	1	0.03
京都府	381	3.15	1	0.01	53	0.71	648	8.64	169	2.25	23	0.31	7	0.09	38	0.51	-	-
大阪府	874	3.05	19	0.10	246	1.24	1611	8.14	278	1.40	32	0.16	47	0.24	116	0.59	1	0.01
兵庫県	629	3.21	18	0.14	193	1.51	1596	12.47	171	1.34	24	0.19	56	0.44	92	0.72	2	0.02
奈良県	114	2.07	11	0.31	41	1.17	306	8.74	43	1.23	9	0.26	-	-	21	0.60	-	-
和歌山県	61	1.22	8	0.26	49	1.58	315	10.16	87	2.81	16	0.52	4	0.13	21	0.68	-	-
鳥取県	171	5.90	2	0.11	30	1.58	267	14.05	42	2.21	9	0.47	1	0.05	21	1.11	-	-
島根県	210	5.68	5	0.22	25	1.09	385	16.74	39	1.70	32	1.39	1	0.04	16	0.70	-	-
岡山県	344	4.10	7	0.13	66	1.22	660	12.22	87	1.61	19	0.35	12	0.22	33	0.61	1	0.02
広島県	278	2.32	19	0.25	80	1.07	1326	17.68	162	2.16	10	0.13	7	0.09	40	0.53	-	-
山口県	329	4.70	22	0.45	128	2.61	949	19.37	121	2.47	12	0.24	13	0.27	53	1.08	-	-
徳島県	62	1.63	8	0.35	29	1.26	307	13.35	49	2.13	7	0.30	14	0.61	17	0.74	-	-
香川県	140	2.75	5	0.16	49	1.53	565	17.66	73	2.28	21	0.66	12	0.38	17	0.53	-	-
愛媛県	91	1.42	3	0.08	112	2.87	593	15.21	73	1.87	7	0.18	2	0.05	32	0.82	-	-
高知県	166	3.39	2	0.06	95	3.06	496	16.00	51	1.65	9	0.29	2	0.06	15	0.48	-	-
福岡県	1624	8.20	26	0.22	305	2.54	1268	10.57	383	3.19	27	0.23	78	0.65	129	1.08	2	0.02
佐賀県	390	11.14	9	0.39	40	1.74	270	11.74	70	3.04	6	0.26	38	1.65	29	1.26	-	-
長崎県	644	9.47	17	0.39	70	1.59	561	12.75	72	1.64	10	0.23	9	0.20	25	0.57	1	0.02
熊本県	299	3.69	26	0.53	75	1.53	684	13.96	114	2.33	31	0.63	12	0.24	40	0.82	-	-
大分県	265	4.57	4	0.11	122	3.39	608	16.89	125	3.47	4	0.11	13	0.36	40	1.11	-	-
宮崎県	583	9.72	11	0.30	111	3.00	814	22.00	139	3.76	33	0.89	2	0.05	30	0.81	-	-
鹿児島県	1298	13.96	6	0.11	80	1.43	609	10.88	165	2.95	3	0.05	27	0.48	33	0.59	-	-
沖縄県	152	2.62	1	0.03	23	0.68	227	6.68	193	5.68	10	0.29	-	-	16	0.47	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年4週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	17	0.01	127	0.04	9	0.00	2937	0.96	14	0.02	399	0.62	5	0.01	9	0.02	99	0.21
北海道	1	0.01	3	0.02	-	-	70	0.49	-	-	14	0.48	1	0.04	-	-	2	0.09
青森県	-	-	4	0.10	-	-	14	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	1	0.03	5	0.14	-	-	9	0.24	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	2	0.03	-	-	18	0.30	1	0.08	6	0.50	-	-	-	-	1	0.08
秋田県	-	-	-	-	-	-	3	0.09	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.14
山形県	-	-	-	-	-	-	33	1.10	-	-	3	0.38	-	-	-	-	7	0.70
福島県	1	0.02	-	-	-	-	35	0.73	-	-	7	0.58	-	-	-	-	9	1.29
茨城県	-	-	2	0.03	-	-	37	0.50	1	0.06	29	1.81	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	22	0.48	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	7	0.11	-	-	38	0.61	-	-	27	1.93	-	-	-	-	2	0.20
埼玉県	2	0.01	8	0.05	-	-	178	1.11	-	-	27	0.73	-	-	-	-	2	0.22
千葉県	1	0.01	3	0.02	-	-	211	1.57	3	0.09	20	0.57	-	-	-	-	3	0.33
東京都	-	-	4	0.03	1	0.01	86	0.61	-	-	8	0.57	1	0.04	-	-	5	0.20
神奈川県	2	0.01	2	0.01	-	-	174	0.84	-	-	19	0.45	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	55	0.92	2	0.22	6	0.67	-	-	-	-	5	0.42
富山県	-	-	-	-	-	-	38	1.31	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	24	0.83	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	1.00
福井県	-	-	-	-	-	-	140	6.36	-	-	1	0.33	-	-	1	0.17	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	3	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0.70
長野県	-	-	-	-	-	-	21	0.38	1	0.09	4	0.36	-	-	-	-	7	0.64
岐阜県	1	0.02	2	0.04	-	-	108	2.04	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	5	0.06	-	-	82	0.95	-	-	3	0.15	-	-	-	-	2	0.20
愛知県	2	0.01	8	0.04	1	0.01	165	0.91	-	-	31	0.89	-	-	-	-	5	0.38
三重県	-	-	-	-	-	-	38	0.84	-	-	4	0.33	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	46	1.39	1	0.14	1	0.14	-	-	1	0.14	-	-
京都府	-	-	3	0.04	-	-	63	0.84	-	-	4	0.22	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	5	0.03	1	0.01	177	0.89	-	-	12	0.23	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	-	-	1	0.01	1	0.01	62	0.48	-	-	23	0.66	-	-	2	0.17	2	0.17
奈良県	-	-	2	0.06	-	-	17	0.49	-	-	2	0.22	-	-	2	0.33	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	30	0.97	-	-	2	0.50	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	3	0.16	-	-	2	0.11	-	-	4	1.33	-	-	-	-	2	0.40
島根県	1	0.04	4	0.17	-	-	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	1	0.02	-	-	1	0.02	25	0.46	-	-	8	0.67	-	-	-	-	10	2.00
広島県	-	-	2	0.03	-	-	99	1.32	-	-	18	0.90	-	-	-	-	3	0.16
山口県	-	-	3	0.06	-	-	48	0.98	-	-	4	0.44	-	-	-	-	6	0.67
徳島県	-	-	-	-	-	-	6	0.26	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	4	0.13	-	-	53	1.66	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	-	-	39	1.00	-	-	8	1.14	-	-	-	-	1	0.17
高知県	2	0.06	2	0.06	1	0.03	7	0.23	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	4	0.03	-	-	311	2.59	1	0.04	16	0.62	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	-	-	1	0.04	77	3.35	-	-	-	-	1	0.14	2	0.29	1	0.14
長崎県	-	-	4	0.09	-	-	34	0.77	4	0.50	6	0.75	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	5	0.10	-	-	106	2.16	-	-	16	1.78	1	0.07	-	-	2	0.13
大分県	-	-	1	0.03	-	-	39	1.08	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	19	0.51	-	-	36	0.97	-	-	13	3.25	-	-	-	-	2	0.29
鹿児島県	-	-	2	0.04	2	0.04	33	0.59	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	3	0.09	-	-	23	0.68	-	-	10	1.00	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年4週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	-	-	257
北海道	-	-	-	-	15
青森県	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	7
茨城県	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	2
千葉県	1	0.11	-	-	4
東京都	-	-	-	-	10
神奈川県	1	0.08	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	-	...
長野県	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	11
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	14
兵庫県	-	-	-	-	32
奈良県	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	10
島根県	-	-	-	-	5
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	24
山口県	-	-	-	-	13
徳島県	-	-	-	-	14
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	8
高知県	-	-	-	-	14
福岡県	-	-	-	-	...
佐賀県	1	0.14	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	22
大分県	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年4週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第7巻 第4号 平成17年2月14日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
<厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。